

2022年7月27日

## 第13回 日本語交流プログラム 海外参加校 決定

公益財団法人 博報堂教育財団は、第13回 日本語交流プログラムに参加する海外校の決定について、本日発表しましたのでお知らせいたします。

- 有識者で構成された審査会において、厳正なる審査の結果、世界9の国・地域より10校が本プログラムの参加校として選出されました。(※別紙参照)

### ■ 当事業の目的

当事業は、日本語を大切にしながら異文化体験や国際交流を通じて、海外の生徒と日本の生徒がお互いの理解を深め、「文化の異なる人と、社会的課題に向かってともに行動できる人」への成長のきっかけとなる場の提供を目指したプログラムです。

### ■ プログラム概要

海外の中等教育機関(日本の中学校に相当)で日本語を学ぶ生徒と引率する教師が来日し、日本校への訪問や同世代の生徒との交流、日本の文化・社会体験などを行います。また、海外校来日の前後にも、オンライン交流および講座を実施します。

### ■ 助成内容

日本までの往復航空運賃、出国税・空港利用税・査証代、日本滞在中の宿舎・食事・活動費(研修費・交通費などを含む)、海外旅行保険の付与など

### ■ スケジュール

実施日程: 2023年5月13日～5月23日(予定)

※このプログラムに参加する海外生徒を引率する日本語教師を対象とした事前研修を2022年11月14日～11月30日(予定)に実施予定

※各国の新型コロナウイルス感染症拡大状況等によっては、当プログラムの全てまたは一部を延期・中止することがあります。

この事業は、独立行政法人国際交流基金、公益社団法人国際日本語普及協会、スリランカ日本語教師会、東海大学(台湾)、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会などの協力によって実施されています。

博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査研究を行うことで、児童及び青少年の健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に設立されました。

財団設立時から続く児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」など「子ども・ことば・教育」を領域とした多様な活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <https://www.hakuhodofoundation.or.jp/> ◇

### ■ 本件に関するお問い合わせ先:

日本語交流プログラム (担当: 伊吹)

TEL. 03-6206-6266 FAX. 03-6206-6582

E-mail: [hakuho.gn@hakuhodo.co.jp](mailto:hakuho.gn@hakuhodo.co.jp)

## 第13回日本語交流プログラム 海外参加校一覧

所在地	学校	引率する日本語教師
インドネシア	マダニア中学校	ニニ・サブトリ
インドネシア	ラブスクール・チレンデー中学校	ルピ・クルニアワン
オーストラリア	マウントウェイバリーセカンダリーカレッジ	ミシェル・ルカチンスキ
スペイン	アレクサンドル・デウロフェウ中高等学校	ミネルヴァ・テラデス・オリベラス
タイ	ダムロンラートソククロ学校	ポーンティップ・カンパンペーン
台湾	東吳高級工業家事職業学校	陳 建旭 (チン・ケンキョク)
トルコ	イスタンブール ティジャーレット オダス マルマラ アナドル イマーム ハティップ高校	ラービア・バルカンジ
ブラジル	大志万学園	ラウラ・美枝・山本・渡辺
マレーシア	セコラ メネンガー ケバンサアン セクションセンピラン、シャアラム	ノーサハユ・ビンティ・ハムザ
モンゴル	第19番学校	ラグバジャブ・エンフトヤ